


# opt Report 2010

2010.1.1—12.31



*e-marketing company*



2011年  
オプトの变革は続く。

ここに留まりたくはない。

Innovation

進化し続けること。成長し続けること。挑戦し続けること。創出し続けること。

# 株主の皆様へ

## 2010年を振り返って

インターネット広告業界は、景気低迷の影響を受けつつも2009年には回復基調に乗り、広告媒体としてテレビに次ぐ規模へと成長いたしました。こうした中、当社グループは、2010年より掲げておりますイノベーションに取り組んでまいりました。

2010年は広告代理事業における大型顧客の新規獲得に加え、ソリューション事業およびコンテンツ事業における連結子会社の

売上貢献等により順調に売上高が増加いたしました。

この結果、当期の連結業績は、売上高58,132百万円(前期比6.8%増)、営業利益1,391百万円(同41.4%増)、経常利益1,457百万円(同34.9%増)、および当期純利益596百万円(同17.6%増)となり、売上高、営業利益とも過去最高を達成いたしました。

[単位:百万円]

連結業績			
	2010年	2009年	増減率(%)
売上高	58,132	54,412	↑ 6.8
営業利益	1,391	983	↑ 41.4
経常利益	1,457	1,080	↑ 34.9
当期純利益	596	507	↑ 17.6

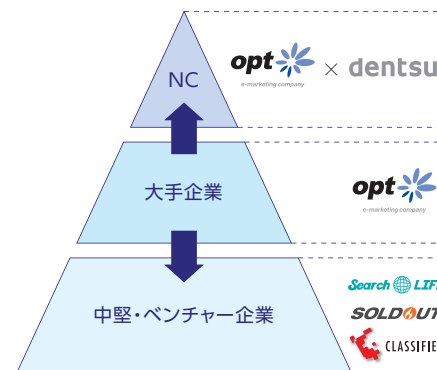
## 今後のインターネット広告業界の展望

2010年の国内インターネット広告市場は、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)を中心として急成長し、スマートフォン<sup>\*1</sup>などの新しい端末やTwitter<sup>®\*2</sup>、Facebook<sup>®\*3</sup>などの新しいサービスが急速に普及するなど、当社グループを取り巻く事業領域は、大きく広がっております。一方で、インターネット広告業界における競争は、今後ますます

激しさを増すものと思われま。

当社グループは、グループ企業の総力を結集するとともに、株式会社電通との協業体制におきましてはナショナルクライアント(NC)を、子会社におきましては中堅・ベンチャー企業の開拓を行い、一層の顧客拡大および関係深耕を目指してまいります。

### 顧客拡大イメージ



※1:携帯電話にインターネット接続などパソコンの機能も備えた携帯端末。

※2:ユーザーが140文字以内の「つぶやき」をサイトに投稿できるコミュニケーション・サービス。

※3:Facebook<sup>®</sup>社が運営する、登録数が全世界で5億人を超えるSNS。

# 株主の皆様へ

## 2011年、イノベーションをさらに加速

当社グループは現在、インターネット広告業界で起きている大きな変化を好機ととらえ、①広告代理事業、②DPF(データプラットフォーム)領域、③グループ経営強化を軸に、イノベーションを推進しております。

広告代理事業におきましては、ソーシャルメディア、スマートフォン分野のサービス強化を推し進めるとともに、データ力と専門力を組み合わせた“課題解決型営業体制”の確立を目指します。

DPF領域につきましては、2010年よりサービスを開始しましたオープンデータプラットフォーム(OpenDPF)「Xrost(クロスト)」と、パートナー企業各社との連携拡大を図るとともに、オーディエンスターゲティング広告\*の拡販に努めてまいります。

また、グループ経営の強化を図るため、M&Aや事業提携も視野に入れ、成長分野への投資も積極的に行ってまいります。

※プラットフォームであるXrostを経由することで、ユーザーのサイト閲覧データ(Cookie情報)の集約・蓄積が可能となり、メディア間を横断したデータ蓄積を行い、ユーザーのニーズにより適したインターネット広告を配信する仕組み。(P13 Xrostスキーム図参照)  
オーディエンスデータの運用にあたっては、総務省の「利用者視点を踏まえたICTサービスに係る諸問題に関する研究会」によって策定された「事業者に一定の配慮を求める原則集(配慮原則)」([http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000067551.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000067551.pdf))に基づいてポリシーを定め、利用者の安全性確保に対する措置を行っております。

## 当社グループが目指す姿

当社グループは、新しい価値を創造する新事業分野の開拓に経営資源を投入してまいりました。DPF領域の実現を目指し稼働を開始したXrostもその一つです。

2010年末にはイノベーションの一環として、相互の事業基盤を有効に活用し、両社グループの事業シナジーを最大化することを目的として、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との資本事業提携を発表いたしました。また、株式会社電通との

これまでの協業体制は変わらず持続し、事業基盤を有効に活用したマーケティングサービスの相互提供や新サービスの開発を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長CEO 鉢嶺 登



## 1

2011年 オプト3つの柱

## 広告代理事業

eマーケティングの潮流をとらえた  
オプトグループのイノベーションが加速しています。

2010年の堅実な成長と、従来の「強み」を強化、  
さらなる「強みの創造」を目指し、  
新たな業種顧客の拡大および既往顧客の深耕を図ります。

## インターネット広告市場、回復基調へ

2010年のインターネット広告市場は約10%の  
高い成長率\*を記録し、リーマンショックによる景気  
後退以前の水準に回復しつつあります。

当社グループの広告代理事業では純広告が好  
調な伸びを見せる中で、検索連動型広告やモバイル  
広告の売上も堅調に増加しました。

株式会社電通との協業によるシナジー効果も引  
き続き順調に進み、業績は堅実に伸長しています。

## ●インターネット広告費の推移



※出典:電通総研

## ● 広告代理事業

### スマートフォン、ソーシャルメディアといった新分野向けサービスに注力

2010年、eマーケティング成長キーワードとして<「専門力」のさらなる強化><「データ力」をさらなる強みに><「成長分野」への積極投資>を掲げ、eマーケティングサービスのさらなる向上に取り組みました。

新たな広告媒体として注目されるスマートフォンやソーシャルメディアなど、新しいデバイスやメディアの大きな成長が見込まれる分野に対し、新サービスの提供や企画・運営といった提案を行うことにより、お客様のマーケティングROI(費用対効果)最大化を目指します。

また、引き続き「専門力」、お客様からのニーズも高い卓越した「データ力」を駆使して展開するeマーケティングサービスを強化し、これからも品質の向上と収益の拡大に努めます。

### 広告代理事業とDPF領域との連携により新しい広告配信へ

2010年、「オープンデータプラットフォーム(OpenDPF)構想」を提起し、より効果的なインターネット広告配信が可能となる「Xrost」を発表しました。

2011年、広告代理事業とDPF領域との連携により、従来の広告枠販売のみではなく、最適なユーザーに最適な広告を提供することが可能なオーディエンスターゲティング広告にも注力していきます。



## 2

2011年 オプト3つの柱

## DPF領域

インターネット広告に戦略性をもたらす  
DPF領域が新たなイノベーションを提起

2011年、eマーケティングNo.1のノウハウとDPF領域を活用し、  
インターネット広告の可能性を飛躍的に拡大する新たなステージを構築します。

## 日本初のオープンデータプラットフォーム「Xrost」の誕生

Xrostは、インターネットユーザーのサイト訪問データ(Cookie情報)を集約・共有化し、オープンなデータプラットフォームを構築することによって、各ユーザーを「利用者(オーディエンス)」としてとらえ、インターネットユーザーのプロファイル化の精度を飛躍的に向上させるものです。これにより、インターネットユーザーの属性・

嗜好に最適な広告やコンテンツを配信することが可能になります。

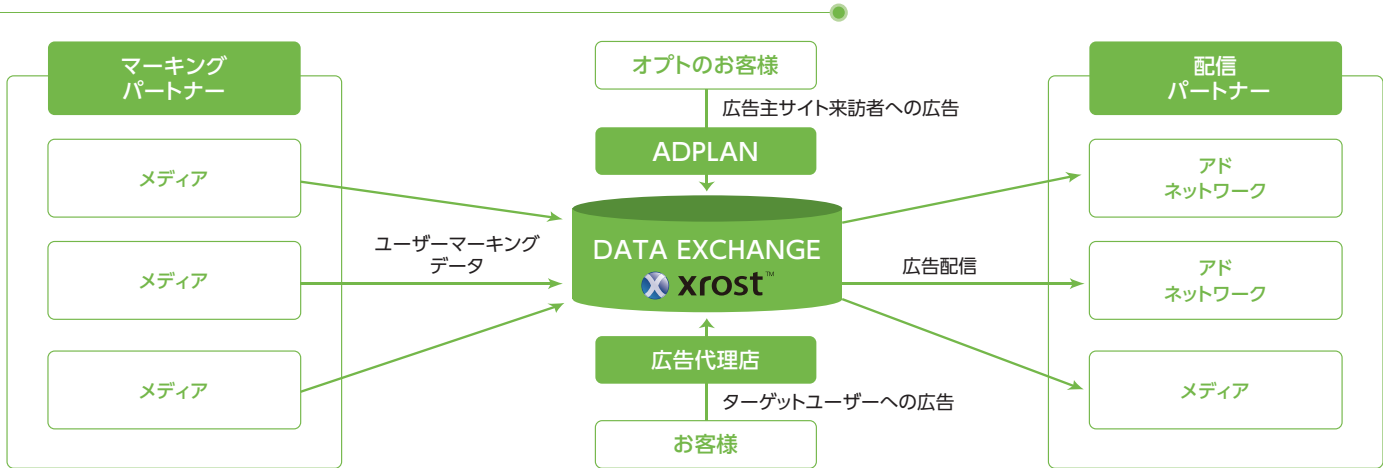
これまでお客様は、個別に展開していたWebサイトへの広告配信に限られ、「どの広告枠に配信するか」という選択肢しかありませんでした。Xrostを使用することにより、複数のサイトにわたるオーディエンス情報を集約し、プロファイルを作成できる

ため、よりターゲットに適した戦略性の高い広告配信が可能となります。

また、Web媒体側にとっても広告枠販売機会の拡大へとつながり、インターネット広告の可能性が大きく広がります。

# DPF領域

## Xrostスキーム



## DPF領域を核とした今後のオプトの展開

すでにADPLANシリーズで導入数1,500以上にもおよぶ広告効果測定の実績を誇り、ログ解析市場で多数のお客さまとの取引のある当社グループにとって、DPF領域は「専門力」と「データ力」を「成長分野」での収益拡大へと結びつける戦略ボードと位置付けていきます。また、アドネットワーク運営企業

との提携による新たな収益機会の創出も期待できます。

2011年、Xrostの展開に加え、ADPLANシリーズの新たな製品拡充を図り、お客さまのマーケティングROI最大化を引き続き目指し、インターネット広告の進化をリードしていきます。

### ADPLANシリーズ

独自に開発した、お客さまのマーケティングROIの最大化をもたらすWeb効果測定ツール。





## 3

2011年 オプト3つの柱

## グループ経営強化

グループ間のシナジー効果の最大化に向けて

グループ間シナジー効果の最大化の実現を目指し、グループ経営を推進・強化へ

## 2011年はグループの総合力で進化する

2010年には新たにソーシャルメディアマーケティングの支援事業を中心とした株式会社モディファイをグループ化するなど、グループ経営強化に向けた取り組みを推進しています。

2009年に連結子会社化した株式会社モバイルファクトリーや、2010年に分社

化したソウルドアウト株式会社をはじめとした連結子会社が2010年12月期において好調な業績を挙げ、着実に効果が出始めています。

2011年も引き続きグループ経営推進に取り組み、オプトグループの総合力を強化していきます。



## 2011年 オプト3つの柱 **グループ経営強化**

### 主な子会社および関連会社

#### 株式会社クラシファイド



クラシファイド広告の企画・販売事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.clf.co.jp/>

#### クロスフィニティ株式会社



SEOを中心としたSEM関連サービスの提供事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.crossfinitly.co.jp/>

#### 株式会社ホットリンク



エージェント技術に特化したSaaS事業  
システム開発事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.hottolink.co.jp/>

#### eMFORCE Inc.



韓国におけるインターネット広告代理事業  
大韓民国ソウル市瑞草区瑞草洞893-9Hyun Bldg.  
<http://www.emforce.co.kr/>

#### 株式会社モバイルファクトリー



モバイルコンテンツ運営事業  
東京都品川区西五反田8-1-5 五反田光和ビル8階  
<http://www.mobilefactory.jp/>

#### ソールドアウト株式会社



中堅中小企業及び成長企業向け  
インターネットマーケティングソリューションの提供事業  
東京都千代田区神田錦町2-4 ダヴィンチ小川町4階  
<http://www.sold-out.co.jp/>

#### 北京欧美特信息科技有限公司



中国における広告制作およびシステム開発事業  
北京市朝陽区八里庄西里61号楼遠洋商務2606号  
<http://www.optchina.cn/>

#### 株式会社コンテンツワン



WEB・IT分野を中心とした人材支援、教育事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.contents-one.co.jp/>

#### 株式会社サーチライフ



リスティング広告運用コンサルティング事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.searchlife.co.jp/>

#### 株式会社モディファイ



ソーシャルメディアマーケティング支援事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.modiphi.com/>

#### 株式会社TradeSafe



通販サイト信頼性認証サービス  
(トラストマークサービス)の提供事業  
東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋Sビル4階  
<http://www.tradesafe.co.jp/>

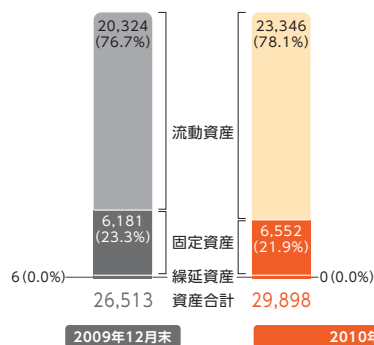


# 連結財務情報

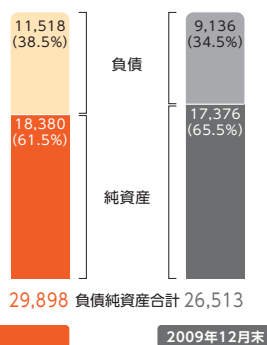
## 連結貸借対照表(要旨)

【単位:百万円】

### ●資産の部



### ●負債・純資産の部



(注)以降特に記載なき場合、金額は単位未満切り捨て、パーセンテージは単位未満四捨五入にて表記しております。

## 依然として高い安定性を維持しています。

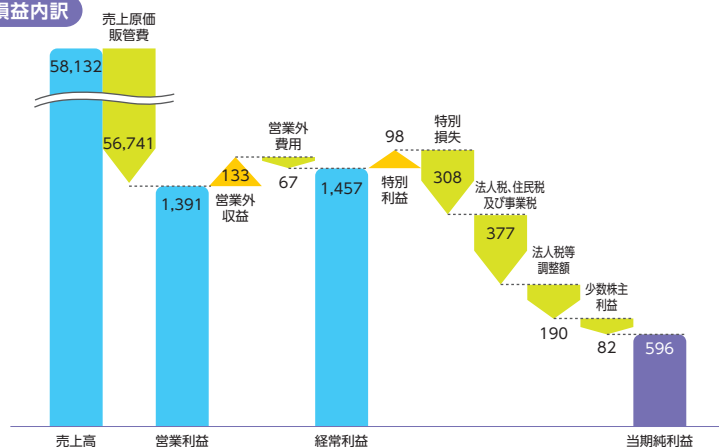
資産面では有価証券が減少したものの、売上拡大により現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことにより、前年同期比33億85百万円増加の298億98百万円となりました。負債面では支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加などにより、前年同期比23億81百万円増加の115億18百万円となりました。純資産は利益剰余金などの増加により、前年同期比10億3百万円増加の183億80百万円となりました。

流動比率・自己資本比率は当期末においても、依然として高い安定性を継続しており、健全な財務体質を維持しています。

## 連結損益計算書(要旨)

【単位:百万円】

### ●連結損益内訳



## 連結売上高・営業利益が過去最高を達成。

株式会社モバイルファクトリー、ソウルドアウト株式会社を連結化したことで、子会社の業績・売上が拡大しました。あわせて新規大型顧客の獲得および既存大型顧客の深耕により、当期は売上高581億32百万円、営業利益13億91百万円とともに過去最高を達成しました。当期純利益は営業利益の増加分による経常利益の増加に加え、特別損失が減少したことにより、前年同期比17.6%増の5億96百万円となりました。

# 会社概要 / 株式の状況

## 会社概要 (2010年12月31日現在)

**名称** 株式会社オプト  
**業種** eマーケティング事業  
**URL** <http://www.opt.ne.jp/>  
**設立** 1994年3月4日  
**売上高** 581億円 ※連結  
**資本金** 75億9,543万円  
**従業員数** 826名 ※連結、出向者除く  
**役員** (2011年3月29日現在)

代表取締役社長 CEO	鉢 嶺 登	社外監査役	石 崎 信 明
取締役 会長	海老根 智仁	社外監査役	小 川 由紀夫
取締役 野内 敦		社外監査役	呉 雅 俊
取締役 CFO	石 橋 宜 忠	社外監査役	山 上 俊 夫
取締役 岩切 隆吉			
社外取締役 大山 俊哉			
社外取締役 大久保 克彦			
社外取締役 中村 利江			
社外取締役 粕谷 進一			

**所在地** 東京本社:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目26番地 一ツ橋ビル  
 大阪支社:〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2丁目1番16号 フジタ東洋紡ビル5F  
**主な子会社  
および  
関連会社** 株式会社クラシファイド  
 株式会社ホットリンク  
 クロスフィニティ株式会社  
 eMFORCE Inc.  
 株式会社モバイルファクトリー  
 ソウルダウト株式会社  
 株式会社コンテンツツワン  
 北京欧芙特信息科技有限公司  
 株式会社サーチライフ  
 株式会社モディファイ  
 株式会社TradeSafe

## 株式の状況 (2010年12月31日現在)

**発行可能株式総数** 433,152株  
**発行済株式総数** 149,316株  
**株主数** 5,739名  
**大株主**

株主名	持株数	持株比率
株式会社電通デジタル・ホールディングス	30,495株	20.58%
鉢 嶺 登	23,498株	15.86%
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	21,505株	14.51%
海老根 智仁	9,312株	6.28%
野内 敦	5,654株	3.81%
小林 正樹	5,254株	3.54%
ノザントラストカンパニー(エイブイエフイー)サブアカウントアメリカンクライアント	3,433株	2.31%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,300株	2.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,980株	2.01%
ステートストリートバンク アンドトラストカンパニー 505044	2,870株	1.93%

(注) 1.持株比率については、自己株式(1,200株)を控除して算出し、小数点第3位以下は切り捨てしております。  
 2.自己株式(1,200株)について、2011年1月14日付でカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社を  
 処分先として第三者割当による処分の手続きが完了いたしました。

## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.opt.ne.jp/">http://www.opt.ne.jp/</a> <small>ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。</small>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



Copyright © 2011 OPT,Inc.All Rights Reserved.

※無断転載・転用を禁じます。